

古河ロックドリル

コンクリート小割圧碎具

適用範囲		型式		Vs15	
		質量 kg		1130	
		取付可能機体質量 (単位 t)		10~16	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値	
油圧装置	シリンダー (図1、2参照)	開閉シリンダー			
		伸縮量	mm	50	
		測定時間	分	3	
	カッター (図3、4参照)	カッターの隙間			
		基準値	mm	0~1	
		許容限度	mm	1	
	圧碎・切断部	圧碎ポイント (図5参照)	圧碎ポイントA		
			基準値	mm	132
			許容限度	mm	66
		圧碎ポイントB	基準値	mm	40
許容限度			mm	26	
圧碎ポイントC					
基準値		mm	119		
許容限度		mm	79		
圧碎ポイントD		基準寸法	mm	139	
		許容限度	mm	70	
	圧碎ポイントE				
基準寸法	mm	85			
許容限度	mm	43			
圧碎ポイントF	基準寸法	mm	77		
	許容限度	mm	38		
	圧碎ポイントG				
基準寸法	mm	—			
許容限度	mm	—			

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定

①測定具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、アームを全開状態（シリンダー収縮）で行う。

②ショベルのエンジンを停止してからホース内の残圧を抜いて、ストップバルブを閉じる。

③L寸法の測定を実施し、3分後に再度L寸法を測定し、その差を伸縮量とする

または、シリンダーロッドとシリンダパッキンとの境界部に印を付けておき、3分後に印とシリンダパッキンの距離を測定して伸縮量とする。

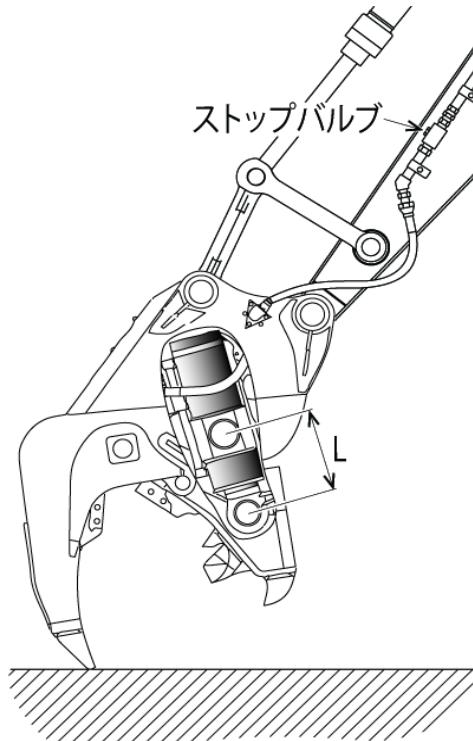


図1 開閉シリンダーの伸縮量測定

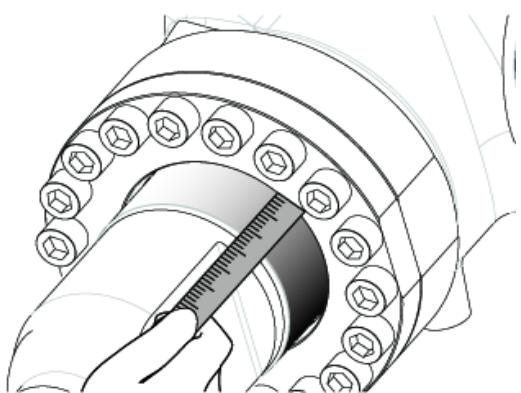


図2 シリンダーロッドの伸び量測定

2. カッターの隙間測定、圧碎ポイントの測定

①本体を水平に置きアーム全閉状態（シリンダー伸長）で測定する。

②隙間ゲージによりカッターのすき間を測定する。

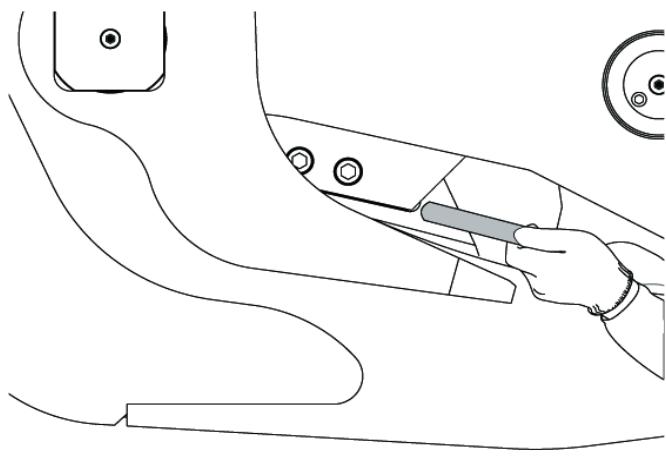


図3 カッターのすき間測定

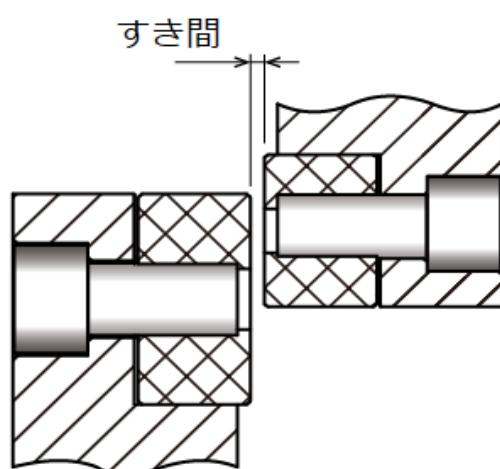


図4 カッターのすき間測定

2. 圧碎ポイントの測定

①本体を水平に置きアーム全開（シリンダー収縮）状態で測定する。

②圧碎ポイントA～Fを計測する。

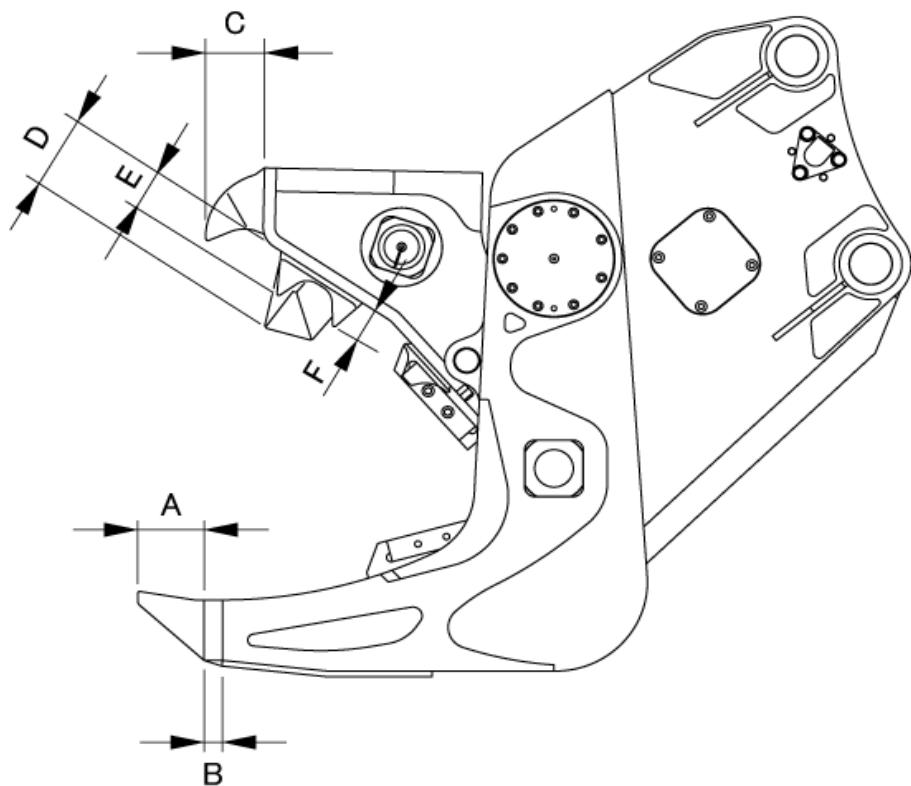


図5 圧碎ポイントの測定